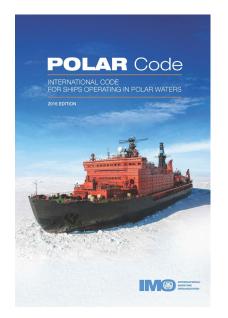
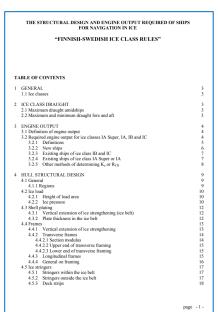
今だからこそ必要な 極域研究 ・技術開発

●北極航路研究の出口戦略としての国際基準、国際標準への貢献







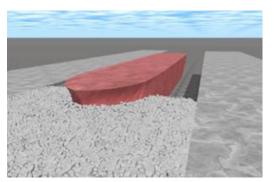
北海道大学北極域研究センター 特任教授 宇都正太郎



耐氷船 主機出力要件

- ●耐氷船規則の国際スタンダードであるFinnish-Swedish Ice Class Rulesでは主機出力要件として ブラッシュアイスチャネルを船速5knotで単独航 行可能であることを定めている。
- 規則に記載された主機出力推定式を用いて推定できるが、規定では精度の高いシミュレーションおよび水槽試験結果を用いた推定も認められる。
- この分野で世界最先端の研究を行う国内の研究 に期待。

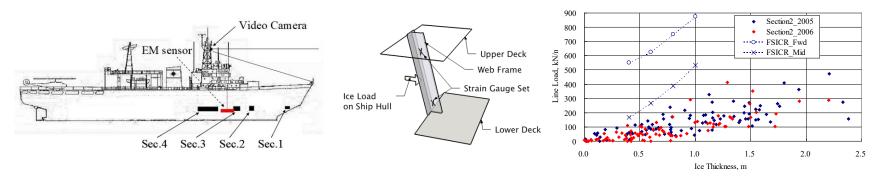






北極域研究船みらい||の活用

- ●IACS URI2 氷海船 構造設計基準への貢献
 - ✓みらいII船上での長期にわたる構造応答計測及び局 所氷荷重推定
 - ✓IACS構造設計基準の検証に提供



Matsuzawa and others., Full-scale Experiments of JCG Patrol Vessel SOYA from 1991 to 2013 In the Southern Sea of Okhotsk, Okhotsk Sea and Polar Oceans Research 6 (2022)

